

施設の現状

1-1 砂防設備の現状（砂防堰堤）

表3 砂防堰堤の現状

令和4年3月現在

事務所名	健全度			堰堤 基数
	良  悪			
	健全度A 対策不要	健全度B 経過観察	健全度C 要対策	基
前橋土木事務所	16	16	2	34
渋川土木事務所	63	68	10	141
伊勢崎土木事務所	0	0	0	0
高崎土木事務所	56	54	4	114
安中土木事務所	29	61	8	98
藤岡土木事務所	56	44	13	113
富岡土木事務所	92	132	27	251
中之条土木事務所	79	85	4	168
沼田土木事務所	33	141	11	185
太田土木事務所	8	7	0	15
桐生土木事務所	28	69	8	105
館林土木事務所	0	0	0	0
合 計	460	677	87	1,224
割 合	38%	55%	7%	100%

堰堤基礎部洗掘



堰堤亀裂

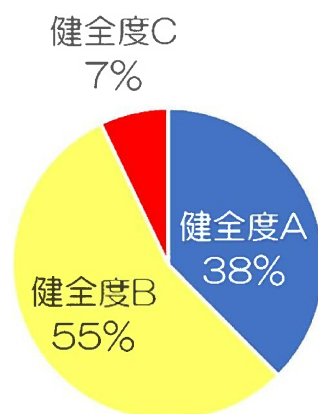


図6 健全度割合

1-2 砂防設備の現状（床固工）

表4 床固工の現状

令和4年3月現在

事務所名	健全度			床固工 基数
	良  悪			
	健全度A 対策不要	健全度B 経過観察	健全度C 要対策	基
前橋土木事務所	18	7	1	26
渋川土木事務所	22	13	8	43
伊勢崎土木事務所	0	0	0	0
高崎土木事務所	18	10	5	33
安中土木事務所	18	10	1	29
藤岡土木事務所	6	3	0	9
富岡土木事務所	14	23	2	39
中之条土木事務所	7	12	1	20
沼田土木事務所	3	19	3	25
太田土木事務所	0	0	0	0
桐生土木事務所	5	9	0	14
館林土木事務所	0	0	0	0
合 計	111	106	21	238
割 合	47%	44%	9%	100%

垂直壁摩耗欠損



水通し部石積欠損

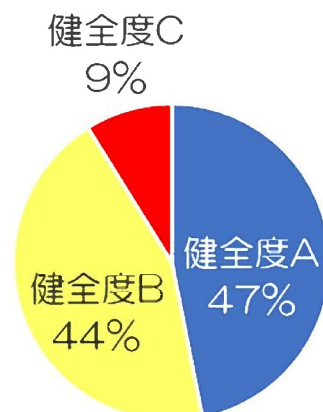


図7 健全度割合

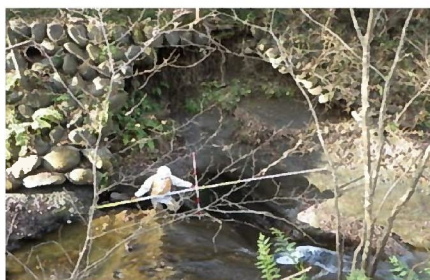
表5 溪流保全工の現状

令和4年3月現在

事務所名	健全度			溪流保全工 箇所数
	良悪			
	健全度A 対策不要	健全度B 経過観察	健全度C 要対策	箇所 ※
前橋土木事務所	11	31	0	42
渋川土木事務所	31	50	0	81
伊勢崎土木事務所	0	4	0	4
高崎土木事務所	55	106	6	167
安中土木事務所	57	88	11	156
藤岡土木事務所	66	43	4	113
富岡土木事務所	117	257	0	374
中之条土木事務所	82	75	0	157
沼田土木事務所	47	179	1	227
太田土木事務所	5	7	0	12
桐生土木事務所	30	58	0	88
館林土木事務所	0	0	0	0
合 計	501	898	22	1,421
割 合	35%	63%	2%	100%

※箇所は施設番号数であり、数箇所施設番号を持っている溪流もある

護岸崩壊



根継工洗掘



健全度C
2%

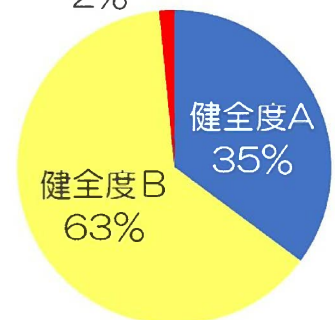


図8 健全度割合

2 急傾斜地崩壊防止施設の現状

表6 急傾斜地崩壊防止施設の現状

令和4年3月現在

事務所名	健全度			急傾斜地※ 崩壊防止 施設 区域数
	良  悪			
	健全度A 対策不要	健全度B 経過観察	健全度C 要対策	区域
前橋土木事務所	7	3	0	10
渋川土木事務所	19	12	0	31
伊勢崎土木事務所	0	0	0	0
高崎土木事務所	30	43	1	74
安中土木事務所	10	52	11	73
藤岡土木事務所	20	42	1	63
富岡土木事務所	59	63	12	134
中之条土木事務所	39	40	4	83
沼田土木事務所	38	41	4	83
太田土木事務所	3	3	0	6
桐生土木事務所	29	51	1	81
館林土木事務所	1	0	0	1
合 計	255	350	34	639
割 合	40%	55%	5%	100%

※「急傾斜地崩壊防止施設」を有する「急傾斜地崩壊危険区域」の区域数

法枠工中詰材流出



待受防護柵ネット損傷

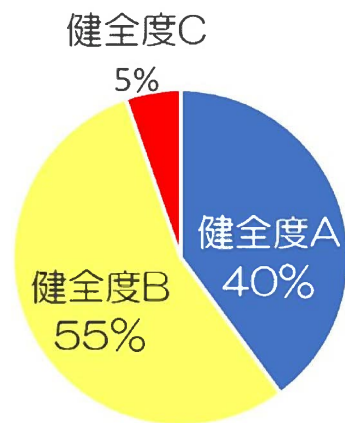


図9 健全度割合

表7 地すべり防止施設の現状

令和4年3月現在

事務所名	健全度			地すべり※ 防止施設 区域数
	良  悪			
	健全度A 対策不要	健全度B 経過観察	健全度C 要対策	区域
前橋土木事務所	0	0	0	0
渋川土木事務所	1	1	0	2
伊勢崎土木事務所	0	0	0	0
高崎土木事務所	2	1	2	5
安中土木事務所	1	1	9	11
藤岡土木事務所	2	2	6	10
富岡土木事務所	3	5	1	9
中之条土木事務所	6	1	16	23
沼田土木事務所	4	2	1	7
太田土木事務所	0	0	1	1
桐生土木事務所	0	0	0	0
館林土木事務所	0	0	0	0
合 計	19	13	36	68
割 合	28%	19%	53%	100%

※「地すべり防止施設」を有する「地すべり防止区域」の区域数

集水井内の集水管目詰まり



横ボーリング破損

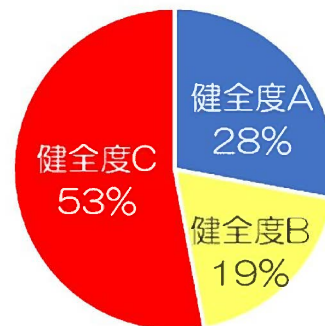


図10 健全度割合

表8 雪崩防止施設の現状

令和4年3月現在

事務所名	健全度			※ 雪崩防止 施設
	良  悪			
	健全度A 対策不要	健全度B 経過観察	健全度C 要対策	箇所
前橋土木事務所	0	0	0	0
渋川土木事務所	0	0	0	0
伊勢崎土木事務所	0	0	0	0
高崎土木事務所	0	0	0	0
安中土木事務所	0	0	0	0
藤岡土木事務所	0	0	0	0
富岡土木事務所	0	0	0	0
中之条土木事務所	0	0	0	0
沼田土木事務所	2	3	1	6
太田土木事務所	0	0	0	0
桐生土木事務所	0	0	0	0
館林土木事務所	0	0	0	0
合 計	2	3	1	6
割 合	33%	50%	17%	100%

※「雪崩防止施設」を有する「雪崩危険箇所」の区域数

雪崩予防柵工基礎部



雪崩予防柵工ワイヤー

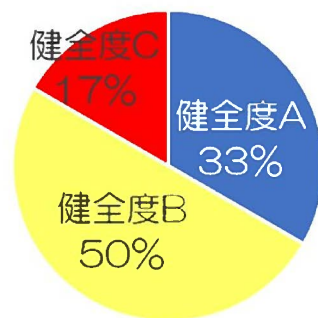


図11 健全度割合

砂防課アルバム

地すべりにより龍宮橋が太鼓橋状に隆起



図12 中之条町 生須（昭和60年）